

今朝は朝7:30から2台のバンが各家庭を回り、生徒を乗せて空港に向かいました。一週間の滞在でしたが、沢山の思い出ができ、別れがつからそうでした。最後に改めてホストファミリーに感謝の気持ちを伝え、ハグをしてバンに乗り込みます。日曜日の朝ですので、ファミリーも起きているとは限らないため、昨夜の内に別れの挨拶を済ませておくようにと伝えていましたが、多くのファミリーが玄関先まで見送ってくれました。中には荷物のパッキングで寝る時間が遅くなり寝坊してしまったり、家を出るぎりぎりまでスーツケースと格闘したという生徒もあり、皆が感傷的なお別れとなったわけではないようです。空港では、機械を使ったチェックイン、ゲート番号、ボーディングタイムの把握など、今後一人でも渡航できるよう自分で確認。空港内の移動もだいぶ慣れてきたように見えます。搭乗までの時間は朝食兼昼食をとりましたが、多くはアメリカらしくヘビーなハンバーガーを選んでいました。

インディアナポリス到着後、ホテルへ向かうバスの中では、ガイドの方がこの地域の紹介をしてくれました。白人が約70%を占めるこの地は山の無いフラットな地形で、ボストンよりは若干寒さが和らぎます。バスの窓からはひたすら畑が続くのどかな風景が広がっていました。

ホテルにチェックイン後、部屋に入る前に先生より明日からの研修に向けた心構えについて話をさせていただきました。場所も変わり、ホームステイも学校も終わったことで緊張感が切れてしまいましたが、ここからこの研修の第二章が始まります。自分から学びに行くと言う積極性によって得られるものは変わってくる、ただ流れに身を任せて何もしないで終わることの無いように、と改めてこの研修に参加する意味を問いかけました。

夕食はホテルの近くのレストランに向かいました。今まではホームステイでしたので、このように全員で食事を共にするのは初めてです。食事の前に生徒代表から、明日からの研修の意気込みを話してもらい、夕食がスタート。今日は洋食のメニューだったので、テーブルマナーやちょっとした店員とのやりとりも勉強です。ドリンクを頼んだり、お皿をもらったりと自分の英語が伝わると自信になるようでした。夕食が終わったのは20:00頃でしたが、まだ日は暮れていません。実は本日からサマータイム (daylight saving time) が始まり、一時間、時計の針を進めました。この経験も日本ではないことです。いつもより一時間長い一日を過ごし、明日に向けて思いを新たにしました。



ホストファミリーとのお別れ



空港での食事①



空港での食事②



明日からの研修に向けて



夕食①



夕食②